

NEWS RELEASE

**キヤノンマーケティングジャパン株式会社
公益財団法人パブリックリソース財団**

「未来につなぐふるさと基金」を設立 ～今年度支援額1000万円を予定～

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（社長：川崎正己、以下キヤノンMJ）と公益財法人パブリックリソース財団（代表理事：久住剛、以下パブリックリソース財団）は、このたび「未来につなぐふるさと基金」を創設します。



キヤノンMJは、2010年5月より、子どもたちの未来に美しく緑豊かな“ふるさと”を残すことを目指す環境保全活動「未来につなぐふるさとプロジェクト」（以下ふるさとプロジェクト）に国内のさまざまな地域で取り組んでいます。

これまで、お客様やビジネスパートナーから回収した使用済みカートリッジの本数と、PPC用紙（コピー紙）の販売数に応じた金額を積み立て、「ふるさとプロジェクト」の活動資金としてきました。

このたび、更なるプロジェクト拡大と透明性・公開性の高い活動資金運営を行うことを目的に、パブリックリソース財団は、キヤノンMJとともに「未来につなぐふるさと基金」を創設しました。これにより、キヤノンMJからの寄付に加え、全国のさまざまな企業や個人からの寄付を受け入れができるようになり、プロジェクトの拡大が期待されます。キヤノンMJの今年度の予算は1000万円を予定しています。

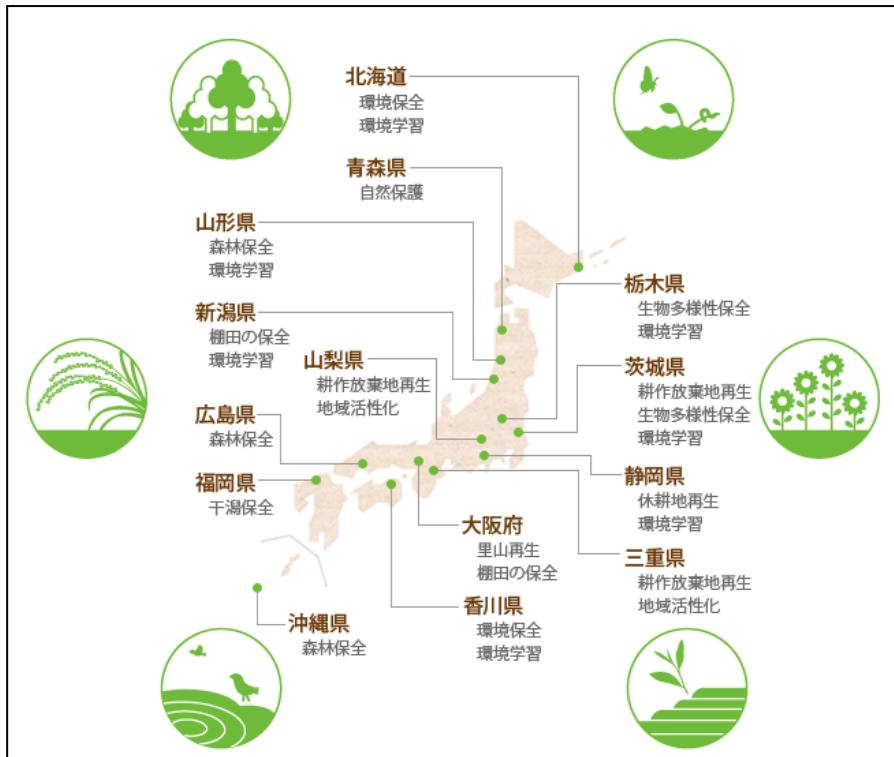
また、公益財団法人パブリックリソース財団により、プロジェクトを第三者の視点で評価、改善提案をすることで、より貢献性の高い環境保全活動へスパイラルアップしていきます。

【基金の概要】

- 名称
「未来につなぐふるさと基金」
- 目的
プロジェクト拡大と透明性・公開性の高い活動資金運営を行うこと
- 管理団体
公益財団法人パブリックリソース財団
- 基金への支援方法
公益財団法人パブリックリソース財団へお問い合わせください。

-
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社
広報部広報第一グループ 03-6719-9093（直通）
公益財団法人パブリックリソース財団
事務局長 岸本幸子 03-5540-6256（直通）
 - 報道関係者用ホームページ : canon.jp/e-pr
-

【活動地域と活動内容】



【活動地域と活動内容】

活動地域	プログラム名	団体	活動内容
北海道	霧多布湿原の保全	認定 NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の自然保護と環境学習
青森県	白神山地の保全	NPO 法人白神山地を守る会	白神山地の自然保護
山形県	「未来の森」づくり	NPO 法人共存の森ネットワーク	中津川地区での森づくりと、地元の暮らし体験
茨城県	人も河童も喜ぶ自然再生プログラム	認定 NPO 法人アサザ基金	耕作放棄地再生とヒマワリ栽培、生き物観察
栃木県	ヒトとムシの楽園プロジェクト	NPO 法人 塩谷町旧熊ノ木小学校管理組合	ガーデン作りや森作りを通じた「ムシの楽園」づくり
新潟県	棚田のふるさとづくり	NPO 法人共存の森ネットワーク	高根集落の棚田の保全と地元の暮らし体験
山梨県	田んぼできずなづくり	一般社団法人 風土人	遊休田でのお米作りと地域の方々との交流
静岡県	三島原風景再生プログラム	NPO 法人グラウンドワーク三島	三島市の遊休地を活用し蕎麦栽培
三重県	お茶畑の再生とお茶づくり	野原村元気づくり協議会	栽培を停止したお茶畑の再生、お茶栽培
大阪府	源流米パラダイス	NPO 法人里山俱楽部	棚田でのお米作りを通じた里山再生
広島県	山のグラウンドワーク	西条・山と水の環境機構	東広島市西条の憩いの森公園での森林整備
香川県	ドングリランドの森づくり	NPO 法人どんぐりネットワーク	環境学習と森林整備などの環境保全
福岡県	和白干潟クリーン作戦	和白干潟を守る会	博多湾・和白干潟でのクリーン活動
沖縄県	宮古島 防風林づくり	美ぎ島宮古グリーンネット	宮古島市の海岸や畑のまわりの防風林作り